

教育目標

親切で思いやりのある子ども（愛）
よく考えて学ぶ子ども（英知）
健康で明るい子ども（活力）

醸 芳

醸芳小学校 学校だより
NO. 19 3月11日(水)
発行者 校長 高野 孝男
2020年

◇ 3・11東日本大震災を忘れない！復興へ向けて挑戦する。◇

3月11日（水）に、東日本大震災から丸9年目を迎えました。私達はあの日の事を忘れずに、強い気持ちを持ち日々を生かしていくことが大切です。追悼式は、新型コロナウイルス感染予防のため行えませんが、教職員で黙祷を捧げました。追悼式で話す予定だった校長式辞を紹介します。なお、復興へ向けた福島県の元気ソング「雲のかなた」も福島県のホームページにあります。ぜひお聴きください。

<式辞>

2011年3月11日。震度7の考えられない強い地震。東日本大震災が起こり、それに伴い東京電力福島第一原発事故が起こりました。そのため、たくさんの尊い命が奪われ、住む家もなくなってしまうなど悲しい出来事が起こりました。今日で9年経ちます。亡くなられた皆様には、心よりご冥福をお祈りいたします。

さて、私達は、この3月11日の震災を迎えるにあたり、振り返り、学んだことを次に生かすことが大切です。9年経った今だからこそ、その教訓を再確認したいと思います。

1つ目は、「**万が一のことを考え行動すること**」です。昨年も全国各地で台風による災害等が頻発しました。もし、地震など災害が起こったら、慌てないで落ち着いて行動することが大事です。そのためには、日頃から、話を良く聞き、自分の命は自分で守れるように、いつも心がけ行動できるようにしましょう。また、家庭でも、「**家族と万が一地震等、災害が起きたときどうするか話し合っておくこと**」も大切なことです。

2つ目は、「**福島県民として、誇りと自信を持ち自分の夢や目標に向かって精一杯頑張ること**」です。私達は、福島県民として、「復興」へ向け一丸となって取り組んできました。その結果、着実にもとの生活へ戻ってきていますが、一方では自分の生まれ育ったところとは違う別の所で、今もなお4万人近くの福島県民が避難生活をしています。福島県は今も復興しているところとまだまだ解決しなければならない課題がたくさんあります。

しかし、後悔ばかりしていても前には進めません。そうです。人間は「**前向きに取り組むこと**」が大事なのです。このような苦しい状況に負けないで立ち向かっていく姿勢を見せることが、震災で亡くなられた人達、避難生活をして頑張っている人達、応援してもらった多くの方々に対して、責任や使命を果たすことにつながるのだと思います。

いよいよ、今年は、東京オリンピック、パラリンピックが開催されます。福島県を応援して下さったたくさんの方が、この福島県や桑折町にもおいでになることでしょう。将来に向け、私達一人一人が夢や希望を持ち、失敗を恐れずに挑戦をする姿を見せることが「復興」の大きな力になると信じています。

結びに、**みんなで力を合わせ、「醸芳っ子」が活躍する姿を地域の皆さんに見せること**で、元気や勇気を与えていきましょう。

「生まれてよかった 住んでよかった 来てよかった」と思える希望に満ちた豊かな福島の未来を切り拓くため

復興に向けて 大きく羽ばたけ 頑張れ ふくしま 輝け 醸芳っ子

◇ 3月23日 令和元年度修了式・卒業証書授与式を行う予定です。◇

新型コロナウイルス感染予防に係る臨時休業のために、令和元年度第3学期は、3月31日で終了したことになります。そのため、3月23日（月）8時20分から修了式、10時から卒業証書授与式を行う予定です。感染予防のため、全員マスク着用、アルコール消毒の徹底、児童間の間隔を広げた整列、卒業証書授与式においては、卒業生、保護者、教職員のみでの式とし、入退場のカット、呼びかけの簡略化により時間短縮を行うことで感染予防に努めます。卒業証書のもらい方、呼びかけ等の練習不足は否めません。しかし、6年間で大きく成長した6年生44名のために、旅立ちの喜びを大切にしたい心に残る素晴らしい卒業式にしたいと思います。



<伝統を引き継ぐ輝け醸芳っ子>



<中学校制服贈呈式の様子>